

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第40期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	シャクリー・グローバル・グループ株式会社
【英訳名】	SHAKLEE GLOBAL GROUP, INC.
【代表者の役職氏名】	代表執行役 齋藤 匡司
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号
【電話番号】	(03)3340-3601
【事務連絡者氏名】	経理部長 島立 直樹
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号
【電話番号】	(03)3340-3625
【事務連絡者氏名】	経理部長 島立 直樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第1四半期連結 累計期間	第40期 第1四半期連結 累計期間	第39期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(百万円)	6,569	11,196	30,981
経常利益(百万円)	931	2,517	4,533
四半期(当期)純利益(百万円)	485	1,212	2,780
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	131	1,564	4,471
純資産額(百万円)	6,838	7,676	11,176
総資産額(百万円)	29,678	39,592	40,529
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	19.67	49.30	112.54
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	49.21	112.53
自己資本比率(%)	22.4	18.9	27.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第39期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当社グループの主力製品は栄養補給食品であり、その事業は異なる市場ごとに異なる規制を受けております。またビジネスモデルはダイレクトセリングであり独自の規制があります。そのため将来における法律、規制、政策の変更ならびに、それらによって発生する制度や習慣の変化が、当社グループの収益に影響を及ぼす恐れがあります。

### 2【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年5月15日付で、アールエイチジェイ・インターナショナル・エスエーが保有する当社の普通株式を、当社の株主総会の承認を条件として、取得することに関し株式買取契約をアールエイチジェイ・インターナショナル・エスエー及びシルバー・ファミリー・ホールディングス・エルエルシーとの間で締結し、平成25年6月27日付で自己株式の買い取りが完了いたしました。

#### 1. 自己株式の取得を行う理由

当社事業の安定的かつ長期的な成長及び株主価値のさらなる向上を実現するため

#### 2. 取得する株式

アールエイチジェイ・インターナショナル・エスエーが保有する当社の普通株式

#### 3. 取得する株式の総数

10,128,000株

#### 4. 株式の取得価額の総額

5,064,000,000円及び利息相当額（利息相当額は最大で72,010,080円）

#### 5. 取得する期間

平成25年6月25日から平成25年6月28日まで

#### 6. 取得の方法

当社は、アールエイチジェイ・インターナショナル・エスエーに対し、4,051,200,000円を本件自己株式取得に係る取得日に、1,012,800,000円を、3年間で、当該金額の延払いに対する利息相当額とともに支払います。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の概況

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日までの3ヶ月間）におけるわが国経済は、政府、日銀一体となった金融政策等により円高是正および株価回復が進み、景況感改善の兆しが見えてきました。

このような状況のもと、当社グループは、新規メンバー獲得やビジネスリーダー育成のための販売促進活動を通じ、顧客やスーパーバイザーの増加に引き続き力を注いでまいりました。

当期の当社グループの売上高は、アジア事業での売上規模の大幅な増加により総売上高20,187百万円（前年同期比72.4%増加）、純売上高（売上割戻差引後）11,196百万円（前年同期比70.4%増加）となりました。

営業利益は2,382百万円（前年同期比114.6%増加）となりました。売上拡大をサポートするためのアジア地域での投資による費用増加があったものの、売上の大幅な増加により増益となりました。

経常利益は2,517百万円（前年同期比170.5%増加）、四半期純利益は1,212百万円（前年同期比149.5%増加）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、主に現金及び預金が前連結会計年度末に比べ3,198百万円減少しましたが、売掛金、棚卸資産、その他の流動資産、固定資産が増加しました。

これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ937百万円の減少となりました。

負債につきましては、未払売上割戻金、未払法人税等、未払費用が減少しましたが、買掛金、借入金、その他流動負債、その他固定負債等が増加したため総負債は前連結会計年度末に比べ2,562百万円の増加となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上により1,212百万円増加し、為替の影響により、為替換算調整勘定が純資産を増加させる方向に351百万円変動しました。

また自己株式が買い取りにより5,065百万円増加したため、純資産は前連結会計年度末に比べ3,500百万円減少しました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、151百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

## 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	25,920,000	25,920,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	-
計	25,920,000	25,920,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの第1四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

## (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年4月1日 ~ 平成25年6月30日	-	25,920,000	-	100	-	-

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしておりません。

## 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,212,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,589,000	24,589	-
単元未満株式	普通株式 119,000	-	-
発行済株式総数	25,920,000	-	-
総株主の議決権	-	24,589	-

## 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
シャクリー・グローバル・グループ株式会社	東京都新宿区西新宿二丁目6番1号	1,212,000	-	1,212,000	4.67
計	-	1,212,000	-	1,212,000	4.67

(注) 第1四半期末現在の自己株式数は11,341,728株であります。

## 2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

取締役の状況

退任取締役

氏名	退任年月日
野宮 博	平成25年 6月27日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	13,946	10,748
売掛金	2,680	3,086
商品及び製品	2,855	3,296
原材料及び貯蔵品	1,490	1,632
その他	4,242	5,006
貸倒引当金	38	39
<b>流動資産合計</b>	<b>25,176</b>	<b>23,730</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	3,419	3,457
無形固定資産		
のれん	5,691	5,835
商標	3,594	3,771
その他	1,229	1,324
<b>無形固定資産合計</b>	<b>10,515</b>	<b>10,932</b>
<b>投資その他の資産</b>		
その他	1,418	1,471
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,418</b>	<b>1,471</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>15,353</b>	<b>15,861</b>
<b>資産合計</b>	<b>40,529</b>	<b>39,592</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	2,088	2,367
1年内返済予定の長期借入金	925	1,340
1年以内のリース債務	423	432
未払売上割戻金	3,668	3,509
未払法人税等	1,529	1,378
未払費用	2,315	2,166
代理店研修会議費引当金	503	388
ポイント引当金	38	37
その他	2,088	2,983
<b>流動負債合計</b>	<b>13,580</b>	<b>14,604</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	11,340	11,432
長期リース債務	2,213	2,218
退職給付引当金	916	964
役員退職慰労引当金	20	19
繰延税金負債	520	850
その他	762	1,826
<b>固定負債合計</b>	<b>15,772</b>	<b>17,311</b>
<b>負債合計</b>	<b>29,353</b>	<b>31,915</b>



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,196	1,196
利益剰余金	11,276	12,489
自己株式	978	6,043
株主資本合計	11,593	7,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	7
為替換算調整勘定	613	262
その他の包括利益累計額合計	606	254
新株予約権	189	189
純資産合計	11,176	7,676
負債純資産合計	40,529	39,592

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	6,569	11,196
売上原価	2,290	3,699
売上総利益	4,279	7,497
販売費及び一般管理費	3,168	5,114
営業利益	1,110	2,382
営業外収益		
受取利息	0	9
為替差益	3	302
その他	0	3
営業外収益合計	4	315
営業外費用		
支払利息	143	140
その他	40	39
営業外費用合計	184	180
経常利益	931	2,517
税金等調整前四半期純利益	931	2,517
法人税等	445	1,305
四半期純利益	485	1,212

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
四半期純利益	485	1,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	354	351
その他の包括利益合計	354	351
四半期包括利益	131	1,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131	1,564

## 【注記事項】

( 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理 )

( 税金費用の計算 )

税金費用については、当第 1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費 ( のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。 ) 及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日 )
減価償却費	176百万円	190百万円
のれんの償却額	110	135

( 株主資本等関係 )

株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年 6 月25日開催の株主総会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は、当第 1 四半期連結累計期間において5,064百万円増加し、当第 1 四半期連結会計期間末において6,043百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	日本	北米	その他 ア ジア (注)1	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,655	2,850	2,064	6,569	-	6,569
セグメント間の内部売上高又は振替高	81	765	-	847	847	-
計	1,737	3,615	2,064	7,416	847	6,569
セグメント利益	347	450	380	1,178	67	1,110

(注)1. 「その他アジア」の区分は、日本以外のアジア地域の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	日本	北米	その他 ア ジア (注)1	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,661	3,581	5,952	11,196	-	11,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	108	1,839	-	1,948	1,948	-
計	1,769	5,421	5,952	13,144	1,948	11,196
セグメント利益	252	350	1,879	2,482	99	2,382

(注)1. 「その他アジア」の区分は、日本以外のアジア地域の現地法人の事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	19円67銭	49円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	485	1,212
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	485	1,212
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,712	24,595
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-円-銭	49円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	48
(うち新株予約権)	(-)	(48)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		新株予約権4種類(新株予約権の数1,302,230個)。

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

シャクリー・グローバル・グループ株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 相澤 範忠 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田中 葉子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシャクリー・グローバル・グループ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、シャクリー・グローバル・グループ株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。